

令和6年度事業報告書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

第1 概要

県内における令和6年中の刑法犯認知件数は6,722件と前年に比べて548件増加し、特に不同意性交等、恐喝、詐欺、自転車・オートバイ盗が増加している。

また、「電話で『お金』詐欺」の被害額は約4億4千万円（前年比＋約1億7千万円）、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害額は約11億6千万円（前年比＋約5億4千万）と前年と比較し大幅に増加しているほか、全国で「闇バイト」に関わった若者が強盗事件等に加担させられる事件が相次いで発生し、県内でも交流サイトで、特殊詐欺の「闇バイト」を募ったとして10代の若者と指定暴力団幹部が逮捕されるなど、県民を取り巻く犯罪情勢は依然として深刻な状況にある。

当協会は令和4年度から大規模事業が終了し、また令和6年度末で「電話で『お金』詐欺」被害防止支援事業が終了するなど、今後は大幅な資金不足にある中、運営に必要な資金獲得や限られた予算の有効活用を図りつつ、警察・各地区防犯協会及び地域防犯ボランティア団体等の関係機関・団体と連携した犯罪防止に関する各種広報啓発活動や地域防犯ボランティア活動の支援を行った。

地域防犯対策事業では、「電話で『お金』詐欺」被害防止対策として、高齢者世帯に対し、自宅訪問等で防犯電話機の設置、同サービスの設定等の助言・指導及び会合等で防犯講話等の支援活動を積極的に推進した。

第2 協会運営

1 定時総会

令和6年5月28日に定時総会を開催し、防犯功労者等の表彰を行った後、令和5年度収支決算、任期満了に伴う役員選任等を審議して議案通り承認され、令和5年度の事業報告、令和6年度の事業計画や収支予算の説明がなされた。

2 理事会

(1) 第1回理事会

令和6年5月7日に第1回理事会を開催し、令和5年度の事業結果や収支決算、顧問・参与の変更に伴う推薦、任期満了に伴う役員選任、専務理事の報酬等を審議し、承認された。

(2) 第2回理事会（役員選定理事会）

令和6年5月28日の総会で任期満了に伴う役員が選任された後、同日、役員選定理事会を開催し、会長佐藤義興、副会長竹崎一成及び専務理事入江真也が承認された。

(3) 第3回理事会

令和7年3月25日に第3回理事会を開催し、「代表理事（会長）等の辞任に伴う会長選定」で「新会長に竹崎一成」が承認された他、令和7年度の事業計画・収支予算、「電話で『お金』詐欺」被害防止支援事業の終了、賛助会員の推薦等について審議し、理事・監事の承認を得て議案通り決議した。

第3 地域防犯対策事業

1 犯罪防止の広報・啓発事業

(1) 地域防犯活動の推進

ア 令和6年全国地域安全運動の実施

令和6年10月11日から同月20日までの10日間、「みんなでつくろう安心の街」をメインスローガンに実施した。

実施に伴い、各地区防犯協会に対して啓発チラシ及び広報用物品を配布し、運動期間中の防犯診断等による自転車盗防止活動や「電話で『お金』詐欺」被害防止広報キャンペーン等の活性化を促進した。

なお、「防犯くまもと」令和7年新年号に各地区防犯協会による期間中の主な取組を掲載した。

イ 防犯標語の募集、優秀作品の選考、表彰

令和6年全国地域安全運動の実施に伴い、青パト活動写真、暴力団追放標語等を県民に幅広く募集したところ、青パト写真9点、標語512点の応募があり、優秀作品を選考して表彰するとともに、「防犯くまもと」令和6年秋季号に掲載する等し、広報啓発に活用した。

熊本県入選作品は次のとおりで、県防連会長名で表彰した。（被表彰者の学職は応募当時）

○ 青パト写真部門（課題：青色回転灯等装備車の活躍）

最優秀賞 青パト隊隊長 井口 洋二さん

優秀賞 団体職員 武原 友佳さん

○ 標語部門（課題：暴力団のいない社会づくり）

最優秀賞 玉名女子高校3年 佐野 陽風さん

「住民の 絆で追放 暴力団」

優秀賞 玉名女子高校3年 山中 美乃莉さん

「暴力団 なくして平和 笑顔の輪」

優秀賞 会社顧問 前田 繁さん

「暴迫は 希望の朝の 道しるべ」

ウ 青パト活動の推進

青パト車両の指定を受けている当協会車両にて、熊本市内を中心に計画的に青パト活動を実施した。

(2) 広報啓発活動の推進

ア 広報紙「防犯くまもと」による広報啓発活動

当協会発行の広報紙「防犯くまもと」を年4回発行し、各地区防犯協会、各自治会等を通じて、県内一円に配布・回覧し、防犯意識の向上や地域防犯活動への参画意識を啓発した。

広報内容は、警察や関係機関と連携し、地域安全情報、防犯環境の向上、各地区防犯協会の活動紹介等を掲載し、広く県民に防犯意識の啓発に努めた。

発行月、発行部数は以下のとおり。

○ 発行月

4月(春季号)、7月(夏季号)、10月(秋季号)、1月(新年号)

○ 発行部数

1回 74, 204部 (年間合計296, 816部)

イ ホームページの活用

当協会ホームページに広報紙「防犯くまもと」を発行の都度掲載するほか、優秀作品の防犯標語等を掲載し、ホームページによる広報啓発に努めた。

(3) 各地区防犯協会と連携した防犯広報

全国地域安全運動及び自転車・オートバイ盗、住居侵入犯罪やサイバー犯罪等の被害防止のため、各地区防犯協会と連携し、ポスター・チラシや教本等を配布又は掲示し、県民の防犯意識を啓発した。

(4) その他の広報啓発

各種防犯広報冊子等の購入と地区防、関係機関・団体への配布等

○ 防犯手帳の斡旋 843冊

○ 「安心な街に」 2, 832冊

○ 「家庭と防犯」 36冊

(5) 賛助会員に対する各種広報啓発資料の提供

賛助会員に対し、「安心な街に」、「防犯くまもと」等の広報冊子を配布し、新賛助会員には盾型の会員証を交付するなど、犯罪防止活動への理解と協力の啓発に努めた。

2 防犯関連団体への支援事業

(1) 防犯ボランティア団体の活動支援

ア 「防犯若武者ベアーズ」の活動支援

県内の大学生で構成する「防犯若武者ベアーズ」のボランティア保険、「電話で『お金』詐欺」被害防止寸劇等の活動支援として10万円を助成した。

イ 「サイバー防犯ボランティア」の活動支援

県内の大学生で構成するサイバー防犯ボランティアの活動の支援として10万円を助成した。

ウ 全防連が行う次世代ボランティア研修会の推薦

次世代を担う学生ボランティア等を中心に防犯活動の活性化を目的に、令和7年2月17日から翌18日東京での「次世代学生防犯ボランティアリーダー研修会」に防犯若武者ベアーズ2名を推薦した。

(2) 熊本県暴力追放県民大会の協賛

第34回熊本県暴力追放県民大会が、令和6年11月15日に菊陽町図書館ホールにて開催され、当協会は大会への協賛と暴力追放運動を支援した。

(3) くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民大会の後援

くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民会議による令和6年度県民大会が、令和6年10月18日に熊本テルサで開催され、当協会は同大会を後援し参画・参加した。

3 青少年の健全育成事業

警察、少年警察ボランティア及び地区防が連携して行う「肥後っ子の居場所づくり事業」の活動支援として、20万円を助成した。

4 防犯機器等の普及事業

各地区防と連携し効果的な防犯ボランティア活動を推進するため、防犯広報冊子や防犯ブザー、防犯腕章等の防犯活動資機材の斡旋販売を行い、その普及に努めた。

5 防犯功労者・団体の表彰及び感謝状の贈呈

(1) 防犯功労表彰

ア 県防連表彰

令和6年度の県防連会長・警察本部長連名による防犯功労表彰は

- 防犯功労団体 5 団体
- 防犯功労者 32 名

が受賞され、定時総会前に表彰式を行った。

イ 全防連表彰

令和6年9月26日、全国地域安全運動中央大会において、全防連表彰を以下のとおり受賞した。

- 防犯功労者「防犯栄誉」 金章1名、銀章2名、銅章6名

ウ 九防連表彰

令和6年10月1日付で、九防連表彰を以下のとおり受賞した。

- 防犯功労団体 1 団体
- 防犯功労者 4 名

(各受賞者、受賞団体については「防犯くまもと」令和7年新年号に掲載し紹介)

(2) 感謝状の贈呈

賛助会員として長年にわたる活動支援に対して、次の4団体2名の会員に定時総会の席上において、会長から感謝状を贈呈した。

東横イン熊本桜町バスターミナル前

東横イン熊本新市街

東横イン熊本城通町筋

白木メディア株式会社

西山 哲夫 様

丸塚 年男 様

6 地域防犯活動の指導及び実施

熊本県警から業務委託を受けた「電話で『お金』詐欺」被害防止支援員業務（通称：でんでんむし隊）は、支援員（県警OB）2名で県内の高齢者世帯に対し、自宅訪問や電話等で防犯電話機の設置、同サービスの設定等の助言・指導及び会合等で防犯講話を行った。なお、この事業は熊本県からの令和7年度事業予算が得られず、令和6年度をもって終了となった。

第4 自転車防犯対策事業

1 業務委託契約状況

令和6年度の自転車販売店との業務委託契約、登録受理件数等は次のとおりである。

○ 業務委託契約件数

- ・ 令和6年度中の新規契約件数 1 件
- ・ 令和6年度中の契約解除件数 5 件
- ・ 業務委託契約総件数 206 件

○ 送付件数・受理件数

- ・登録証の送付件数 49,789件（前年比+2,469件）
- ・登録証の受理件数 47,748件（前年比 -470件）

2 自転車防犯登録の適正な運用

電動アシスト自転車の普及等に伴い、各防犯登録所に対し、適正かつ的確な防犯登録の作成を指導するとともに、適正かつ早期登録の運用に努めた。

3 迅速かつ正確な登録業務の実施

登録制度の適正な運用を図るため、迅速かつ正確な登録情報の入力に努めるとともに、警察からの登録情報に関する照会業務に適切に対応した。

4 登録制度の周知、盗難等被害防止広報

- (1) 広報紙「防犯くまもと」やホームページ等を活用し、登録制度の法的義務や重要性と新規・変更・抹消登録の確実な届出の周知を図った。
- (2) 各地区防と連携し、全国地域安全運動期間中を中心に、自転車盗難防止に向けた二重施錠、施錠点検等被害防止・被害回復に向けた広報活動を実施した。

第5 風俗環境浄化事業

1 熊本県風俗環境浄化協会事業

- (1) 「熊本県風俗環境浄化協会」（熊本県公安委員会の指定団体）として、熊本県公安委員会から「風俗営業に係る管理者講習」及び「風俗営業の許可等に関する調査業務」の委託を受け適正に業務を実施した。

ア 風俗営業に係る管理者講習

人吉・多良木、宇城・八代、水俣・芦北方面の1号営業（接待飲食等営業）、4号営業（麻雀・ぱちんこ営業）、5号営業（ゲームセンター）を対象に13回講習を行い、277人が受講した。

イ 風俗営業の許可等に係る調査業務

風営適正化法に定める営業許可申請、変更承認申請に伴い、許可基準、構造設備の技術上の基準の適合等の調査を下記のとおり実施した。

- 営業許可申請調査 134件（前年度比 -1件）
- 変更承認等申請調査 24件（前年度比 -15件）
- 調査合計 158件（前年度比 -16件）

- (2) 風営適正化法に違反する行為を防止するための啓発活動

風俗営業者の法令遵守の意識を啓発するため、調査業務実施時に、営業者等に対して、

- リーフレット「あなたのお店はだいじょうぶ？」

を配布し、自主的な啓発の促進を図った。

- (3) 風俗環境浄化事業に付帯する事業

風俗営業の適正な業務を促進するため、風俗営業所備え付け関係資料を下記のとおり販売した。

- 従業者名簿 74部（前年度比 -3部）
- 管理者業務実施簿 92部（前年度比 -2部）

2 風俗環境浄化活動に係る支援

- (1) 繁華街対策支援

熊本中央地区防犯協会に対し、繁華街の安全・安心と風俗環境浄化対策の活動支

援を目的とし、繁華街対策会議、防犯ボランティア活動及び防犯グッズ購入費等の支援として20万円を助成した。

(2) 広報啓発活動

熊本県遊技業協同組合が実施する不正防止対策推進要綱に基づき、遊技店舗に対する立入検査を12回実施し、58店舗の立入調査に従事し、健全な営業の啓発に努めた。

第6 会議等

1 熊本県青少年育成県民会議総会

令和6年5月22日に熊本県庁地下会議室で開催され、専務理事が参加した。

2 都道府県防犯協会専務理事・事務局長会議及び風俗環境浄化事業運営管理者研修会

令和6年7月17日に東京で開催され、専務理事が出席し、意見交換を行った。

3 九州防犯協会連絡協議会総会・研修会

令和6年7月23日に佐賀で開催され、専務理事が出席し、意見交換を行った。

4 特殊詐欺の被害をなくす県民の会第15回総会

令和6年8月7日に熊本県警察本部で開催され、専務理事が参加した。

5 くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民大会

令和6年10月18日にホテル熊本テルサで開催され、その後援を行い専務理事が大会に参加した。

6 第34回熊本県暴力追放県民大会

令和6年11月15日に菊陽町図書館ホールで開催され、その協賛を行い会長が大会に参加した。

7 麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動九州地区大会

令和6年11月20日にホテル熊本テルサで開催され、専務理事が大会に参加した。

8 九州各県防犯協会専務理事会議

令和6年11月28日に大分で開催され、専務理事が出席し、意見交換を行った。

9 熊本県犯罪被害者支援連絡協議会

令和6年7月25日に開催された幹事会に次長が、令和7年1月27日に開催された総会に専務理事がそれぞれ出席した。

以 上